

# 特 集 看護師特定行為 研修センターについて

高度な臨床判断力とスキルを習得し、看護と医学の両方の視点を持った新たな看護のプロフェッショナルを育成することを目指す看護師特定行為研修センターについて紹介します。

## 看護師特定行為研修センターについて

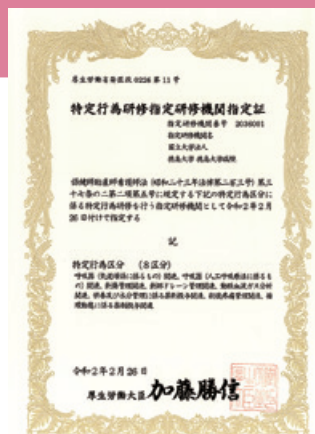
在宅医療、ならびにチーム医療の充実、また、医師の働き方改革を進めるために、研修を修了し、特定行為が可能となった看護師の必要性が高まっています。徳島大学病院は特定行為研修の指定研修機関として厚生労働省より指定を受け、令和2年3月に看護師特定行為研修センターを設置しました。それまでは指定研修機関は

徳島県にはなく、研修を受けるために県外へ行く必要がありましたが、当センターができたことで、県内で研修が受けられるようになりました。

なお、研修を修了し、特定行為が可能となった看護師のことを医療機関によって呼び方は様々ですが、徳島大学病院では「特定看護師」と呼んでいます。



徳島大学病院特定看護師



特定行為研修指定研修機関指定証



徳島大学病院特定看護師バッジ



■説明は  
看護師特定行為研修センター  
(左)副センター長  
**中野 あけみ**(なかの あけみ)  
(右)センター専任看護師  
**三木 幸代**(みき ゆきよ)

■お問い合わせ先  
Tel: 088-633-9976  
(総務課専門研修係)  
URL:  
<https://tokushima-hosp-antc.jp/>



## 特定行為とは

診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる38行為です。

これまで医師により行われていた行為のうち、特定行為については医師によって作成された手順書に基づき、医師の判断を待たずに特定看護師によって行うことができるようになりました。

当センターにおける特定行為研修の受講対象者は、次のとおりです。

- 1 日本国内における看護師免許を有していること。
- 2 看護師免許取得後、通算5年以上の実務経験を有している者
- 3 原則として、所属施設において特定行為の実践・協力が得られ、所属長の推薦書を添付できること。
- 4 今後、特定行為を通じて、医療の発展と社会貢献に寄与する意欲があること。
- 5 徳島大学病院職員または徳島県内の医療機関に勤務している者。

研修期間は1年間で、特定行為実践に必要な臨床推論や病態判断など、医学的知識をベースとした専門性の高い研修内容となっています。講義はe-Learningを用いており、自分のペースで学習でき、働きながら研修を受けることが可能です。また、演習や実習では、大学病院の専門医や看護師、特定行為研修修了生からの直接指導が受けられます。

徳島県は、全国でも糖尿病患者さんが多いことから血糖管理コースを開講するなど、地域のニーズを考慮した研修を受けることができます。

令和2年度は本院所属の看護師だけでなく、他の医療機関所属の看護師も研修を受講しており、これらの医療機関は協力施設として、協同して人材育成を行っています。円滑に研修を行うためにも協力施設との連携は重要となります。

## 今後について

特定看護師の活躍によって、特定行為や特定看護師の存在意義が一般に広く知られることになると思います。今後、多くの熱意を持った特定看護師を育成し患者さんが受ける医療の質の向上につなげたいと思います。

さらに、研修の運営だけでなく、研修を修了した看護師のためのフォローアップ研修を企画し、実践能力の維持・向上に努めたいと思います。

## 研修の流れ

4月 開講式

4月～9月 共通科目学習

9月末 共通科目修了試験

10月～11月末 区分別科目学習

11月末 区分別科目OSCE/修了試験

12月～3月 臨地実習(自施設)

3月末 修了式